

～天津民話紀行～ ②

## 読経と度胸（清水川）



第 25 号

発 行

天津地域振興協議会  
総務企画部編集委員会

印 刷

米子ワークホーム

大塚の快治郎さんはハテ？と腕を組んで立ち止った。この快治郎さんは大変な堅物で唯一趣味らしきものは、お金を貯めること!!「錢を盗人に盗られちゃアいけん。」と心配で夜もろくに眠れません。「そうだッ！大安寺の和尚さんに相談してみよう。」と思い、山門をくぐり「和尚さんに相談があるて、やつてきただ。」と告げると「和尚さんは法事で留守です。ハテ？何でしようか？」と庫裏の口から出てきたのは、世話を好きな清水川寺番の堂藏さんでした。「実は、錢を盗人に盗られんようにする方法を教えてもらおうと思つて来ましただ。」と言うと「お安い事です、わしが教えてあげますだ。」と堂藏さんは安請け合いましたが、さっぱり良い答えが浮かびません。

するとそこへ檀家の犬がトコトコとやってきました。そこで堂藏さんは「快治郎さん教えてしんぜるわ、わしが言う言葉をゆうてみてごしない。」

「ほりやきた！ほりやきた！」快治郎さんは真似して「ほりやきた！」と大声で叫びます。すると犬は驚いてつぐまん（座り込んで）しました。堂藏さんは「つぐまんだ！つぐまんだ！」快治郎さんも「つぐまんだ！」つぐまん（座り込んで）しました。

いて逃げ出して行きました。「おのれ！逃げるか！待て！」ここまで言つて堂藏さんは「今の言葉を快治郎さんに教えました。快治郎さんは大喜びで家に帰り、さっそく仏壇の仏さんを拝みはじめました。快治郎さんの家に錢を目当てに盗人が忍びこんできました。盗人が中の様子を伺うと「ほりやきた！ほりやきた！」と声が聞こえます。盗人は自分が忍びこんだのが分かったのかと驚いてしゃがみ込むと「つぐまんだ！つぐまんだ！」これを聞いた盗人はどこかで見られているのかと気味悪くなり、何も盗らずに逃げ出しました。「おのれ！逃げるか！待て！」盗人がようやく慌てて道に飛び出すと、ちょうど法事から帰つて来た和尚さんに蓮池のほとりで鉢合わせ、あつさりと捕まつてしましました。

快治郎さんは堂藏さんに「活きた金を使うことも人生。」と諭され、清水川神社と大安寺に今まで貯めたお金を寄進しました。すると、快治郎さんは良い事が重なるようになつたそうです。

おしまい

～天津公民館によせて～ ②

## 天津地区 運動会



平成2年に新調された優勝旗



宇宙遊泳



昭和59年 天津運動公園で開催

天津地区運動会は、昭和五十二年に始まり、場所を旧天津小学校、つくし保育園、やまと園と転々とし、昭和五十六年からは東西町の下の天津運動公園で開催していました。

当時は、農閑期の暑い時期でした、「ふれあいの一日にしよう」をテーマに、各集落が一丸となって、熱戦を繰り広げていました。

競技種目も二十四種目あり、「ムカデ競走」「国盗物語」「どうつかみ競走」「私は鑑定師」「宇宙游泳」など集落メントからの笑い声が絶えない賑やかな催しでした。また、現在も継続している「マラソン」では、小学生・一般が毎年二百人以上も参加し健脚を競っていました。

平成五年からは、場所をふるさと交流センターに移し、時期も夏の暑い時期から十月に変わりました。

現在も使用している優勝旗は、平成二年の第十五回大会で新調され、長年その年の覇者の手に渡っています。今年の開催は、十月五日(日)です。栄光の優勝旗を手にするのはどこの集落でしょうか?

(文責)  
野口  
勝樹)

全国大会出場

## 法勝寺中学校ソフトボール部

はるか  
亀尾 明花さん(柏尾)

今回は、法勝寺中学校ソフトボール部でキャッチャーをしている柏尾区在住の亀尾明花さんに、全国大会出場の感想をもらいましたので紹介します。

三年生にとっては最後の試合で、私たちも全国で戦うことは初めてだったのでとても緊張しました。

一回戦目は、滋賀県の日枝中学校と戦いました。チームのみんなが一致団結し、四対三で勝つことができました。二回戦目は、残念ながら負けてしましましたが、鳥取県初の一回戦突破をこのチームでできた事は、本当にうれしくとても誇りに思います。

応援して下さった地域の皆さん、本当にありがとうございました。三年生の先輩は、もう引退となつたけれど、先輩に教わつたことを忘れずに、私たちはこれから県一位を目指して頑張ります。

応援して下さった地域の皆さん、本当にありがとうございます。  
三年生の先輩は、もう引退となつたけれど、先輩に教わつたことを忘れずに、私たちはこれから県一位を目指して頑張ります。



応援して下さった地域の皆さん、本当にありがとうございます。  
三年生の先輩は、もう引退となつたけれど、先輩に教わつたことを忘れずに、私たちはこれから県一位を目指して頑張ります。

僕は、七月二十八日から八月三日にかけて、山梨県で行われたインターハイにボート競技で出場しました。僕は、ボートを小学生から続けてきました。本当のところ、僕はあまり運動が得意なほうではありませんでした。ボートを続けてこられたのも不思議なくらいです。どうして頑張れたのかを考えみると、親やコーチ、そして部員の顔が浮かびました。

米子高専三年の桑名維吹です。

僕は、中途半端な結果しか生みません。

この葉を聞いてから僕の中で何かが変わりました。やるなら全力で。努力は絶対に裏切らないのだから。ボートは、努力が確実に結果につながる素晴らしいスポーツです。湊山公園で活動しているので、ぜひ一度見に来てください。



右側が桑名さん

**桑名 維吹さん(坂根)**

あの人この人  
～全国高校総体出場～



3レーンが米子高専

くじけそうな時、つらい時に背中を押してくれる存在。間違いを厳しく正してくれる存在。そして勝利の喜びを共有できる存在。

どれもかけがえのないものです。

これらは、ボートをしていなければ得られなかつたものもあります。ボートは、努力することの大切さを教えてくれました。中途五年前には男子のバレーボールチームが西伯郡になく、前任の監督が立ち上げられました。男子としては野球、サッカーに比べるとマイナーなスポーツとなり、なかなか部員が集まりませんが、現在の部員は西伯小学校が五名、会見小学校が三名、福生東小学校が一名の計九名で活動しています。

南部男子バレーボールクラブは五年前には男子のバレーボールチームが西伯郡になく、前任の監督が立ち上げられました。男子としては野球、サッカーに比べるとマイナーなスポーツとなり、なかなか部員が集まりませんが、現在の部員は西伯小学校が五名、会見小学校が三名、福生東小学校が一名の計九名で活動しています。



**南部男子バレーボールクラブ**

ふるさと交流センター 利用団体の紹介

練習では基本動作はもちろんですが、挨拶、礼儀も指導しています。また、バレーボールは一個のボールを落とさずに三回以内で返すスポーツです。数ある団体スポーツの中でも特に仲間との連携が大切なスポーツです。バレーボールを通じて仲間の大切さを学んでくれたらと思います。

今年の成績は、全ての西部地区大会を突破し、県大会に出場することができます。ただ、チームの目標は全国大会です。そのためチーム一丸となって練習しています。

新入部員も隨時募集しています。「ハイキュー」を見てバレーをやってみたい!って思った方、いつでも体験可能です。ぜひ一緒にバレーボールをしましょう。

(監督 浜崎)

ふるさと交流センター  
<活動場所>  
<活動時間>  
毎週木曜日  
十八時～二十時



# すくでてあまつつ子

フォレストタウンの子ども会は、六年生八人、五年生六人、四年生三人、三年生三人、二年生二人、一年生一人の計二十三人、十七家庭で活動しています。

今年のお楽しみ会は、七月二十日に緑水湖のこもれび工房でソーセージの手作り体験とバーベキューをして楽しみました。

ソーセージ作りでは材料のお肉を握ねるところから始まり、「気持ち悪い!」「楽しい!」など様々な声が聞こえました。そしてみんなが苦戦していたのは、やはり腸にお肉を詰める時でした。どのテーブルからも、お世話になつた職員の方を呼ぶ声が聞こえていました。子ども達の中には、以前に経験した子どももいたので、他の子のお手伝いをしてくれたり、子どもたち同士で助け合いながら作っていました。

出来上がったソーセージを蒸していただいている間にバーベキューをしました。野菜を切ったり、おにぎりを握ったり全て子ども達で準備してもらいました。色々な形のおにぎりがありましたが、おにぎり給食で慣れたものであつという間に出来上



さすが6年生ありがとう!



(フォレスト子ども会  
会長 浜崎)

がりました。「やりたい。やりたい」と、準備にとても積極的で、大丈夫かな?という大人の心配もどこへ?という感じでした。

トライアスロンの日と同日であつた為、朝からちよつとしたハプニングがありましたが、夏休みのいい思い出になつたと思います。ソーセージは帰つてから美味しくいただきました。

「秋近し、頭を垂れる稻穂かな  
なんて 風流で穏やかな詩で  
しようか。では昨今はどうでしょ  
う。



三十年に一度の異常気象(冷夏・猛暑)平成二十六年八月豪雨、生態系の崩壊などの自然現象による天変地異。

個々の防災意識については、「自分だけ助かれば良い」ではなく、まず「自分が生きて他人を助ける」という自覚を持つことが大切であると思います。

今年の中秋の名月は九月八日でしたが、月を見ながら祈りました。

皆さま幸多かれと・・・。

(三好 正展)

## 編集後記

花の模様の背景